

田端憲之助

地名難訓

地名難訓

田端憲之助

地名難訓

攝津

木器（こうづき） 古宝山（ふるぼくやま） 澤上江（かすがえ）
立賣堀（いたちぼり） 放出（はなてん）

河内

蛇草（はくさ） 布忍（ぬび） 譽田（こんだ） 英田（あがた）
葛井寺（ふぢいでら） 高向（たくが）

紀伊

中迫（なかぶさ・那賀郡） 太平石（おべざし・東ムロ、島名）
北郡（ほくそぎ・西ムロ） 大泓（おほふけ・東ムロ）

山城

物集女（もずめ） 太秦（うづまさ） 長山（おとやま） 錢可（ぜべず）
有市（あち） 相樂（さがなか） 叶師（はぜ） 綺田（かばた）

大和

横原（ひではら） 忍海（のしみ） 小夫嵩方（おうぶたけほ） 奉膳（ぶんぜい）
色生（いり） 東川（うのがは） 助命（ぜみょう） 蛇穴（さらぎ）
樋野（いぶり）

近江

拍（かせ） 打明（ひらき） 外（との） 山女原（あけびはら） 家へ（えべつ）

祝山（ほりやま） 糺村（へんむら） 路原（ちはら） 虎姫山（とらごせやま）
口分田（くもうで）

伊勢

田辺（たぬい） 長太（ながこ）

伊賀

喰代（はらしろ） 柝川（ひぢきかは）

播磨

紫合（ゆうだ） 生石（おおしお） 楯原（くぬぎはら） 椅鹿原（はしかだに）

大垣内（おほがき） 筋野（あその） 穴粟（しそら・郡名） 春（うすずり）

芝田（こげた） 奥海（おねみ）

丹波

私市（きさいち） 前木戸（さとし） 遅岫（おそのくき） 石負（いそ）

丹後

間人（たいざ）

但馬

網場（なんば） 水上（むながい） 樂々浦（ささうら） 柰ヶ岡（けびがおか）

因幡

私都（きさいち）

備前

働（かせぎ） 物理（もとりい） 四御神（よごせ） 周匝（すさい）

紙工（しとり）

備中

西濱（よらすな） 神野（ほや） 臘数（しはす） 近似（ちかのを）

福地（しろち） 槁（けやき） 皆部（あざべ）

備後

小童（しち） 行藤（むかばき）

美作

讃甘（さのも） 芝（こうげ） 駿口（まろくち） 大埴和（おほはが）

下和（したを） 禾津（いなつ） 小童谷（ひぢや）

伯耆

上神（かみつわ） 鋤（こがね） 下甲（しもぎ） 車尾（くずも）

石見

石見（いじ） 栢谷（かたらがい）

出雲

潜戸（くけど） 邑生（おふ） 惠曇（えども） 十六島鼻（うつぷるい）

未明（ほのか） 四纏（よがね） 出雲郷（あたかい） 鉦（たたら）

安藝

稼地（ずくも） 桐（ゆづりは） 雲耕（うづのう） 粒原（けいはら）

長門

大口（おほだり） 楡小野（うつきおの）

淡路

安乎（あいか） 炬の口（たけのくち） 來川（こそかは）

阿波

千餘魚谷（かれひだに） 麦生十（むぢうと） 仙野（ひじりの） 十八女（さかり）
百合谷（もまえだに） 芥附（くぐつけ） 篁の野島（すののしま）

讃岐

杵野（くにぎの） 杵田（くにた） 龜水（たるみ） 笹尾（さあきや）
橙谷（はりのきだに） 塩生（はぶ） 曲木（もじき） 大銀（おほぬて）
風戸浦（せとうら）

伊豫

齋院（さや） 壬住（うるすみ） 榮重（よししげ） 來往（きし）

土佐

平等津（ならし） 馬（ばあ） 拓（つぶて） 大埴（おほそね）
五百藏（いほろい） 蛇ヶ野（はめがの） 尾立（ひぢ） 戸波浦（ひょうら）
鳴無（おとなし） 禰原（ゆすはら）

筑前

石動（いしない） 韋島（はしま） 頂吉（かぐめよし） 米冠（しりかんげ）
茸木（なばき） 日佐（おさ） 的（ゆくわ） 上八（こうじょう）

筑後

山枳穀（やまげず） 蚪道（いらど） 三瀧（みつま） 咄分（おとなぶん）

歴の木（くのき）

備前

楞島（おろこしま） 彼杵（そのき） 國東（くにさき） 馬の部（まのはまり）

備後

砒原（かきはら） 柵（かこい） 柾の俣（げずのまた） 畑（こば）

開持（きかあもち） 莎崎（こうさき） 神水（くわみず） 錢塘（ぜんども）

甲畠（あげはた） 巖（かざり） 休居（よこの） 蜻の浦（へぼのうら）

□の湯（はがのゆ） 戸豊水（とりうず） 改寄（あらき）

豊前

洞上（ほきのうへ） 櫃（からと） 鎌野（かぎの）

豊後

米花山（はぜやま） 槐木（にがき） 梶山（ねじやま） 辰ヶ堀研（たつがはえ）

月出山（かんとやま）

日向

大出水（えじうむ） 政矢谷（ませだん）

大隅

始良（あひら） 上堀（かしたんほ） 宮脇（みやな） 柵野（くのぎ）

柵谷（かंकたん） 猜が宇都（あえがうと） □迫（こまがさこ）

畷山（けさやま） 須賀（すかたん） 櫛（あをき）

薩摩

狩集（からすまい） 物袋（もつて） 苙口（おろくち） 指宿（いぶすき）

穎娃（ひえ） 谷場（くえば） 耳原（にんばる） 別府（びゆう）

黒子島（ふこしま） 鬼燈ヶ谷（ふつきがや） 国料（こくゆう） 馬渡（もたい）

馬鍬水流（まかんつる） 鮎川（えこ） 越地（けち） 槁の島（かしのうら）

浦頭（うらんこち）

尾張

後江（ひつえ） 莪原（わいはら） 内扇（うとげ） 和爾良（がにら）

三河

千両（ちぎり） 千萬町（ぜじよう） 設楽（しだら・郡名） 門谷（のたに）

舉母（ころも）

美濃

表佐（おさ） 猿爪（ますつめ） 次木（なめき）

飛彈

川上嶽（かおれだけ） 禰宜ヶ澤上（ねがそれ） □^{かんじき}根（かんじきね）

若狭

遠敷（おにふ・郡名） 染ヶ谷（しぶがや） 無悪（さかなし）

塩坂越（しやくし） 釣姫（つるべ） 事代主岬（えびすみさき）

越前

石徹白（いとしろ） 裾（からみ） 大樟（おこのぎ） 米俵（とめとうろ）

桐（かど） 余田（はぐり）

加賀

直下（そそり） 動橋（いぶりばし） 梯川（かけはしがは） 左礫（せだり）

下折（そそり） 土清水（つつちよじ） 燈台笹（とだし）

能登

五十里（いかり） 帯壁（たて） 樟谷（くぬぎだに） 代田（しなんた）

鳳至（ふげし・郡名） 石動（いするぎ） 生神（うるかみ） 矢向（やながれ）

勝木原（ぬるではら）

越中

棚が原（くるみがはら） 下田（みさた） 眼目（さつくわ）

下山新（にざやましん） 芦峠（あしくら） 婦負（ねひ・郡名）

越後

濱忠（はまつた） 種芋原（たなすはら） 棚鱗（たなびれ） 魴穴（えいあな）

鮎谷（かじかだに） 中束（なかまるち） 三国川（さぐりがは）

三湊澤（みしきざわ） 棚田（ませた） 美守（ひたもり）

遠江

澤水加（さばか） 光嶽（てかりだけ） 匂坂（さぎさか） 百古里（すがり）

駿河

槍野（うつぎの） 徳本峠（とくごうとうげ） 嵩下（たけのず）

信濃

陽阜（ひさわ） 尼巖山（あまかざりやま） 千榮（はえ） 芋之木（とちのき）

大嵩崎（おほすべざき） 上村（かどむら） 神稲（くましろ） 極野（にての）

爲栗（すてくり） 甘越（つづごえ）

甲斐

百々（どうど） 諸国に多し（どうどう）（どど）等訓ます 埜（ぬた）
糲代（とうじろ） 忍草（しぼくさ） 藥袋（みない）

相模

名古屋（ながぬき） 岳平山（たへいやま） 尺里（ひさり） 三廻部（みくるべ）
寄（やどりぎ） 行谷（なめがや） 不入斗（いりやます）

武藏

人里（へんぼり） 笛吹（うずしき） 口下（はげした）^{はげ} 石神井（しやくじい）
越生（おこぜ） 寄國土（ゆすくど） 圻（がけ） 東遊馬（のあすま）
道祖土（さいど）

安房

北風原（ないはら） 保田見（ぼてみ）

伊豆

京入道（きおんど）

上総

廿五里（つへえじ） 飯給（いたぶ） 小食土（やさしと） 鬼泪山（きなだやま）
東浪見（とらみ） 分目（わしめ）

下総

駒躰（こまはね） 日秀（ひびる） 大歩（わご） 行々林（おどろばやし）
中峠（なかびよう） 都部（いちべ） 公平（たかたひら） 酒々井（しすゐ）
谷三倉（さくみ） 城下（ねぶや） 堀籠（ほらめ）

常陸

谷三倉（さくみ） 城下（ねぶや） 堀籠（ほらめ）

廻戸（はさまど） 生井澤（なのゐさわ） 肥土（あくど） 畑田（かまた）
鞆負（りきい） 完塚（ししつか） 常名（ひなた） 湯袋（くぶくろ）
随分附（なむさんづけ） 木葉（あぼつけ） 坏村（あくつむら） 鷲子（とりこ）
月出里（すだち） 月居山（げおれやま） 生田目（なばため） 茂木（もてぎ）
行方（なめかた・郡名） 荒波（あらく）

上野

行田（おくのなた） 六合（くに） 桂萱（かいがや） 平川（たにがは）
武尊山（ほたかやま） 植木（いき） 筑井（うつぼゐ） 皇海山（すうみやま）

下野

蛇尾川（さびかは） 汗（ふざかし） 石裂（おさく） 神鳥谷（しととのや）
三轟山（みかもやま） 利保（かかほ） 五十部（よべ） 蛇留淵（さらぶち）
巴波（うづまがは） 網戸（あじと） 晁石山（てりいしやま）

磐城

大江山（おほのべやま） 大槻（おほぬかり） 湯岐（ゆじまた） 河田（ごと）
差塩（さいり） 過足（ゆぎやし） 上北迫（かきばた） 江井（えね）
尺石（くらばいし） □田（すくもた） 込木（くぐりき） 雫（しど）
岩振（なたふり）

陸前

閑上（ゆりかみ） 中淬（なかそね） 長渡（ふたわたり） 馬伏沢（ますさわ）

陸奥

中掇（なかせり） 菴（やち） 泥障作（あおつくり） 毒の久保（ぶしのくぼ）

鷗島（ごみしま） □岳^{かしべ}（かしべだけ） 小和巻（おべし） 派（はだち）
往古之木嶺（おこのきながれ） 鑞泊（まさかり） 治部袋（しんば）
听（さそう） 江牛（えろす） 狄川（えぞかは）

陸中

鈿野（つむの） 甘木（はたふく） 蕨内（しだない） 臥牛（そらし）
□崎^{みさ}（みさざき） 楡^{*}の木（たものき） 忍峠（すだとうげ） 漣磯（すたいそ）
重茂（おもえ） 女遊戸（おなべつ） 狄塚（えつか）

羽前

白山鳥（おしあ） 文下（ほうだす） 梳代（たてのきだい） 海味（かいしゅう）
無音（よばらず） 高揃（たかまた） 苳（のぞき） 乃位^{のぞき}と書く所もあり
左澤（あてらざわ）

羽後

大和澤（おあなざ） 生内（おぼない） 笹子（じねご） 萩澤（がつきざわ）
牛後（べご） 鰯渚（かいらげぶち） 廿六木（とどろき） 内越（うてえち）
雪車町（そりまち） 菴田（なもみた）

あとがき

地名難訓は美浜町吉原の人田端憲之助氏の著である

田端氏は國學院大學に幸ひ折口信夫等の同窓生で親交があつた。また氏は和歌を好み國文学に詳しかつたが、郷土史にも関心をもち本稿はその所産である。

本稿がどうして、わが所蔵となつたか今思い浮べ難いが、たぶん氏を訪ねた際氏から贈られたものと想像される。生来無頓着であつた氏は、本稿もありふれた便箋を使用しているが、文字は田端氏のものである。昭和三十拾年代であつたか、氏は本稿をもとにして、南紀郷土幸会で一席講演をしたこともあつた。机辺整理に際し製本して後に伝える。

昭和四三年四月四日

清 水 長 一 郎

あとがきに書かれてある通り、便箋に田端氏の自筆で書かれた物を、活字化したので、二・三変換できない漢字があつた。私は父から氏の名は先輩の郷土史家・歌人として何時も聞かされていたが、今はもう氏の事を知る人は少ないのではないかと、本稿をコピーしながら時代の推移を痛感した。

平成一六（二〇〇四）年二月一六日

清 水 章 博